



日本橋中



3月号
中央区立日本橋中学校
電話(3851)4074
FAX(3865)2944

HPアドレス
www.chuo-tyo.ed.jp/~nihonbasi-jh/
発行日 令和3年3月1日

教育目標「考える人になろう 心ゆたかな人になろう たくましい人になろう みんなのためにつくす人になろう」
目指す学校像「凛として 確かな学びで大きく伸びる日本橋 心通わせ 夢叶う学校」

目指す生徒像「輝く未来を語り合い 創造することのできる生徒」

未来志向

校長 平野 雅仁

梅の花が見ごろを迎え、寒さの中にも少しずつ春の日差しが感じられるようになってきました。今年度も残すところ1か月となり、令和2年度のまとめの時期となりました。新型コロナウイルス感染症の収束はまだ見えませんが、本年度が無事に終えることができますのも、保護者、地域の皆様をはじめ日本橋中学校にかかわるすべての方々のご協力のおかげと感謝しております。

さて、2018年に白血病と診断され、10か月に及ぶ闘病生活を経て復帰した競泳の池江璃花子選手が、東京辰巳国際水泳場で、2021年2月20日から開催された「東京都オープン」に出場しました。レース復帰後、4つの大会では、いずれも種目は自由形に絞っていましたが、今大会では、体への負担が大きいバタフライにエントリーしました。100メートルバタフライでは、3年前に自らマークした日本記録56秒08秒には、及びませんでした。59秒44秒で3位になりました。

そして、翌21日には、50メートルバタフライで、自身の日本記録まで0秒66に迫る25秒77で、1着でフィニッシュしました。池江選手がレースで優勝したのは競技復帰後、初めてで、病院を退院して去年3月にプールでの練習を再開してからおよそ1年をかけて力を取り戻しつつある姿でした。レース後の取材で、「どんな試合でも1位を取れたことはうれしいことだし、タイムもついてきたのは、今後に向けてすごくいい自信になる。4月の日本選手権に向けては出場種目を慎重に検討し、出るからには、いい位置を狙いたい。体のダメージを見ながら、目標と目的をもっていきたい。」と笑顔で話していました。

昨年2020年7月4日に20歳の誕生日を迎えた池江選手は、一人の人間として、アスリートとして、また、突然日常を奪われ闘病生活を経験した人として、東京2020オリンピック競技大会開幕の1年前イベントで、「一步前へ、進むために+1(プラスワン)」のメッセージを世界に発信しました。キーワードは、「人と会うこと」「外を歩くこと」「プールの中で全身を使って泳ぐこと」「感謝」「尊敬」「希望」「勇気」「未来」「努力」「人とのつながり」など、池江さん自身が1か月以上、推敲し、紡ぎだした言葉でした。

<https://tokyo2020.org/jp/news/videos/video-274-jp>

(TOKYO 2020 7/23 メッセージ映像)

保護者の皆様には、この一年をお子さまとともに前向きにふり返り、子どもの成長を認めて褒めると共に、是非励ましていただきますようお願いいたします。そして、子どもたちには、今なすべきことについて、「何のためにするのか」という目的意識をもとに具体的に新たな目標を立てさせ、4月から始まる新年度へ向けて希望をもたせてほしいと考えています。

最後に学校評価・保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。頂戴した御意見を真摯に受け止め、令和3年度に向けて、課題の解決に努力してまいります。これからも教職員一同は、力を合わせて子どもたちのために全力で頑張っておりますので、次年度も引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

3月の予定

		行事
1	月	全校朝礼 避難訓練
2	火	専門委員会
3	水	
4	木	安全指導
5	金	
6	土	土曜授業日
7	日	
8	月	球技大会(2年)
9	火	
10	水	
11	木	三年生を送る会
12	金	保護者会 PTA 学年部会
13	土	
14	日	修学旅行(3年)
15	月	修学旅行(3年)
16	火	修学旅行(3年)
17	水	卒業式予行
18	木	卒業式練習 前日準備 給食終(3年)
19	金	卒業式 休業日(1,2年)
20	土	春分の日
21	日	
22	月	英語村一日体験(2年)
23	火	球技大会(1年)
24	水	大掃除 給食終(1,2年)
25	木	修了式
26	金	春季休業日始
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

4月のおもな予定

- 6日(火) 始業式
- 7日(水) 入学式
- 8日(木) 給食開始
- 22日(木)~23日(金)
柏学園オリエンテーション(1年)
- 29日(水) 昭和の日

令和2年度 中央区立日本橋中学校 学校評価アンケート

令和2年度の教育活動は、4月・5月のオンラインによる朝の学活と時間割に沿った学習課題から始まりました。6月から学校が再開され、新しい学校生活様式の中、約10か月間の学校生活を振り返っていただきました。アンケートにご協力ありがとうございました。

グラフの見方 **A**・肯定 **B**・肯定的 **C**・否定的 **D**・否定 **E**・わからない

保…保護者
生…生徒
教…教員

1 重点目標の達成状況

重点目標1 生徒一人一人を大切に学習指導で学びの質を保証し、確かな学力の向上を図る。

評価目標 確かな学力の向上と定着

		0%	50%	100%
1	土曜授業等年間行事や一日の日程を工夫し、各教科等の授業時数を確保しているか。(休校中)	保	生	教
2	授業規律を徹底し、落ち着いた環境で授業を進めているか。	保	生	教
3	「分かった」や「できた」の実感をもたせる授業を提供しているか。	保	生	教
4	サプリノートや各種検定の取組で、自学・自習の学習習慣が身に付く指導をしているか。(休校中)	保	生	教

【重点目標1について】

6月から学校が再開され、土曜日の授業時数も確保しながら履修事項については、年間指導計画を見直し、滞りなく実施できています。子どもたちも非常に落ち着いた環境で学習、スポーツに取り組んでいます。課題は、質問事項3と4にあります。このことは、学校と家庭との連携と協力が必要です。「分かった」「できた」との達成感を得るためには、家庭での学習が必要不可欠です。今後、タブレットを活用した反転授業などを行っていく上で、学習に対するレディネス(予習)の重要性が増すと考えられます。また、成長する子どもたちを温かく見守るために子どもたちの健康や学習状況を理解する「生活と学習のサプリノート」の活用はますます重要になると考えられます。

重点目標2: 暴力やいじめがない豊かな関わり合いの中で、自己有用感や共生の心を育てる。

評価項目: 豊かな人間性の育成

		0%	50%	100%
5	学校生活でいじめ・不登校・問題行動等の未然防止や早期発見に努めているか。	保	生	教
6	道徳の時間において学習活動が充実する工夫をしているか。	保	生	教
7	生徒会活動、学校行事、校外学習などで達成感や充実感を味わえることができたか。	保	生	教
8	生徒会、各種委員会活動、係活動などの機会を与え、育成しているか。	保	生	教

【重点目標2について】

豊かな人間性を育てるためには、人と人との関わりが大切です。生徒会によるボランティア活動や学校行事を通じて、友達同士で協力したり、励まし合ったり、努力する姿勢を学ぶ機会としています。また、体験的な活動を通じて、様々な考え方や価値観に触れることで、お互い同士を認め合える関係づくりを行っています。令和2年度については、制限された中で、今できること新たにできることを模索しながら、オンラインによる立会演説会や総合的な学習の時間で、調べたことをタブレットを活用して、発表したりしました。今後も対面(リアル)とICT(タブレット・リモート)を併用した協働活動を充実させていきたいと考えています。

重点目標3: 学校生活を健康・安全に過ごすとともに、将来展望性をもたせる活動を充実させる。

評価項目: 生涯にわたって健康に過ごせる心身の育成

		0%	50%	100%
9	新しい生活様式に合わせた、安全で規律ある集団の一員として行動できたか。	保	生	教
10	講演会、上級学校調べ(2年)、進路説明会(3年)は、自らの進路を考える機会になったか。	保	生	教
11	行事、授業、昼休み等で体育的な活動を充実させ、生徒の運動意欲を高めることができたか。	保	生	教
12	外部講師を招聘しての授業や講演会は、先人の生き方に触れ、将来を考えるきっかけになったか。	保	生	教

【重点目標3について】

各ご家庭の協力のもと、感染症予防対策は十分に行えています。令和2年度は、学校関係者以外の外部講師等を招聘して、講演会や教室などを開催する機会が非常に制限されました。未来につなぐ生き方講演会では、ドイツ国際平和村での活動を名倉幸久医師からお聞きすることができました。また、2年生は、命と心の授業(冒険家・町田健登さん、佐々木葉奈さん)や各学年で、久松警察署主催の各教室などが開催でき、将来展望や健全育成を行う一助となりました。課題としては、キャリア教育(職場体験)やスポーツ、芸術(表現活動)が行えなかったことが多かったと思います。今後の取組の中で、実施の時期や方法などに工夫をしながら、少しでも回復できたらと考えています。

2 今後の改善方策

- ・4月からもタブレット等を活用し、ドリルパーク等一人一人の学習状況(スタディオログ)に応じ、基礎・基本の学力の定着を図っていきと考えています。
- ・3年間を見通したキャリア教育を推進し、自己を理解するとともに持続可能な社会(SDGs)の創り手となるための能力及び態度を育成していきます。
- ・生徒の気持ちに寄り添いながら、SC、SSW、特別支援教室相談員等、各関係機関とも連携を図りながら、きめ細やかな教育相談体制を整えていきます。